



生物学者 福岡伸一さん※の著書
「ルリボシカミキリの青」より
※青山大学教授、ベストセラー
「生物と無生物のあいだ」の著
者、テレビ番組にも出演

調べる。行ってみる。確かめる。また調べる。可能性を考える。実験してみる。失われてしまったものに思いを馳せる。耳をすませる。目を凝らす。風に吹かれる。そのひとつひとつが、君に世界の記述のしかたを教える。

私は、たまたま虫好きが高じて生物学者になったけれど、今、君が好きなきがそのまま職業に通じる必要は全くないんだ。

大切なのは、何かひとつ好きなことがあること、そしてその好きなことがずっと好きであり続けられること。

その旅程は驚くほど豊かで、君を一瞬たりともあきさせることがない。

それは静かに君を励ましつづける。最後の最後まで励ましつづける。

2022年スタート!

『自分が好きなことや得意なこと』を 本気で頑張る一年にしよう!

昨年、アメリカの大リーグ野球で2刀流を大活躍し、MVPを獲得した大谷翔平選手は、あるインタビューで自分にはどんな才能があるかと尋ねられ、自分には特別な才能はないけれどもただ「好きなことを頑張るという才能はあると思う」と答えています。その言葉の通り、彼は小さなころから大好きになった野球を人の何倍も練習し、何倍も研究し、そして何度もぶつかったピンチにも負けない努力を重ねてあれだけの活躍ができるようにまですりました。私は、冬休みに見た彼の特集番組を見ながら、「好きだ」と思うことをとことん大切にしてきたことが、彼の自信となり、力となったのだなと実感しました。

だれでもが、彼ほどの大成功を収めることができるものではないと思います。けれども、間違いなく言うことは、何か好きなことがあり、それを本気で大切にすること、大きなエネルギーになるということ、そして好きなことをとことん頑張ることは、きっとピンチに負けない大きな自信になるということです。勉強やスポーツはもちろん、例えばそれがゲームやSNSであっても、それをやる時間を大切にするために、やらなくてはいけない勉強のことをちゃんと先に片づけて両立させたり、やめる時間やルールを守って体調を整えたりすることができるようになれば、それはきっとあなたの大きな成長といえるでしょう。好きなことをエネルギーに変えて、自分をコントロールし、集中する力をつけたといえるからです。

もちろん、好きでないことや苦手なことだってやらないわけにはいきませんから、それも逃げずに頑張らしましょう。でも、そんな頑張りのエネルギーとして、好きなこと、得意なことを本当の意味で大切に、自信をもって、思い切り頑張る2022年にしてほしいと思います。

「時を守り、場を清め、礼を正す」って知っていますか?

【時を守り】は時間を守ること。つまり、相手を尊重すること。自分が信用を積み重ねること。

【場を清め】は掃除をすること。互いが気持ちよく過ごせる空間を進んで整えるということ。

【礼を正す】はあいさつをすること。あいさつの意味は、心を開き相手に迫ること。

「時・場・礼」は社会人生活の基本です。でもこれは学校生活でも大切に、身に付けておきたい心得ですね。チャイム着席・掃除・あいさつ、今年も大切に!

廊下の雑巾かけにも心が表れています。これなら、気持ちよく使えますね。



阪神淡路大震災発生から27年、次の大地震は、今日起きるかも！

1995年1月17日、午前5時46分に起きた兵庫県南部大地震は、国内史上初の震度7を記録、関連死を含む6434人の死者、住宅被害64万棟の大きな被害を引き起こしました。阪神淡路大震災と呼ばれるこの出来事から27年。今度はそれ以上の規模の「南海トラフ巨大地震」が起こる可能性が高まっています。大震災の教訓を忘れずに、命を守る行動を身に着けましょう。



あの日、建物の倒壊、火災等甚大な被害が...

確認！！危険から身を守るための基本的な行動

＜まずは自分の身を守る！＞

- ①物が、落ちてこない・倒れてこない・移動してこない場所に移動して、落ち着いて揺れがおさまるのを待つ。この時、頭部を最優先に守る。
- ②激しい揺れがおさまったら、あわてず、騒がず、その場所が危険かどうかを判断する。
《安全な場所へ避難する》



- ①鉄筋校舎にいる場合は、比較的安全なので、あわてて外にとび出さない。揺れがおさまったら、すみやかに運動場などに避難する。
- ②避難行動は、**おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない**の原則を守る。

しゃべらない



場面別の行動のポイントは、

①授業中は、

- ・机の下にもぐったり、身近なもので頭を守る。 ・窓や棚、ロッカーから離れる。
- ・カーテンがある場合は閉める。 ・先生の指示に従う。
- ・避難場所に集合したら、すぐに整列し、静かに指示を待つ。

②休み時間や放課後は、

- ・あわてて校舎外にとび出さない。 ・校内放送や先生の連絡を静かに聴き、指示に従う。
- ・体育館では落下物に注意して中央部に集まり、天井の破壊がひどければ出口に移動。
- ・運動場では中央部に集合し、指示を待つ。 ・校外に出たり、校舎内に戻ったりしない。
- ・校舎の間では、落下物に気をつけて広い場所に移動する。

③登下校の途中

- ・カバンなどを頭にのせて、ガラス等の飛散物や落下物から身を守る。
- ・ブロック塀や自動販売機、かんぱんなどから遠ざかる。
- ・中宮中・小学校・家庭の三つの中で、距離的・時間的に一番近いところに避難する。
- ・いったん落ち着いたら、学校や家庭に連絡する。



家にいる場合は・・・無理に登校せず、まずは家で安全を確保する。自宅待機。

- ・状況をよくみて、自宅にとどまるか、近くの避難所に行くかを判断する。

※一次避難所は、中宮小・山田小・明倫小です。(中学校は2次避難所になります。)

- ・保護者不在時の地震発生時の行動、連絡方法などは家族で決めておきましょう。

★★★保護者のみなさまへのお願い★★★

その1 学校からの情報をキャッチできるようにしてください。 情報提供は、次の三つの方法です。

- ①「ミル・メール」…「ミル・メール」のアドレスを登録している方に直接メールを送信します。

★タイムリーな情報提供のための方法です。可能な方は、できるだけ登録をお願いします。

- ②学校のホームページ…中宮中学校のホームページに、情報を掲載します。

- ③生徒用タブレット…クラスルームに情報を発信。状況確認にも使います。非常時に備えて充電を。

その2 生徒引渡しに協力を！…帰宅時等の危険防止のため保護者への引き渡しをすることがあります。

その3 避難先や連絡の方法について、家族で話し合ってください。 防災グッズの準備も確認しましょう。